校長室だより 第7号

校長　瀧　俊彰

実り多い二学期に
光陽中学校だからできる
特色ある取り組みを

今年の夏季休業中には日本でも安心・安全を脅かされるようなことがいくつかありました。まず７月、８月の猛暑と熱中症。「危険な気温」等の表現がありました。また、８月前半には北海道や東北地方で記録的な大雨と度重なる土砂災害。「線状降水帯」や「何十年に一度の大雨」「まず命を第一に行動してください」等のメッセージを何度も聞きました。被災された皆様には一日でも早い復興を祈念いたします。また、コロナ感染症の拡大が深刻なものになり、全国的に感染者が急激に増加しています。大阪府においても同じことです。いつ、どこで感染してもおかしくない状況となっています。それゆえに感染症対策を今まで以上に徹底する必要があります。

３５日間の夏休みが終わりました。まずは休み中大きな事故もなく今日の始業式を迎えることができたことをうれしく思います。一学期の終業式で「継続は力なり」という話をしました。まず目標を決め、目標達成のために毎日続けることができたでしょうか。ただし、努力の結果が出るまでには時間がかかりますが必ず結果はついてきます。夏休みの頑張りが二学期に生きてくると信じています。

さて、二学期には「体育祭」「合唱コンクール」等の大きな行事が続きます。今、光陽中学校は生徒と先生が協力し合って「当たり前の学校生活を当たり前に送っている」という大変うれしい状況にあると思います。そして、『生徒が中心となり自分たちの行事を自分たちでつくり上げている』という姿もはっきりと見えています。

「学校の主役は生徒である」の考えのもとに教職員も応援します。光陽中学校だからできる取り組みを通じて二学期の行事も素晴らしいものにしてください。
また同時に日ごろの授業を大切にして自分の学力を伸ばせるように努力してください。そして、一学期以上に「実りのある二学期」となることを期待しています。

学校生活も場合によればコロナウイルス対応で今までと形を変えて行う必要があるかもわかりません。その時には新しいアイデアも期待します。そして、個人・学級・学年・学校全体で達成感と所属感が味わえるような思い出に残る二学期にしましょう。

令和４年８月　２５日　岸和田市立光陽中学校